万年企業を目指して
中里林檎園 甘い
管理センター ☎000-0111

青森国スポ報告
高校駅伝県予選会報告
今後の予定

THE YUUOU MAISIN
勇往邁進
2026年（令和8年）
10月 30日 金曜日
Ver.111
発行所 さいたま市浦和区元町1丁目28番17号 ☎(048)886－2151

青森国スポ報告
積極的なレースで、見事な６位入賞！

１０月１５日（木）から１９日（月）に青森県カクヒロフループアスレチックスタジアムで国スポが開催された。市高からは、１年の牛王田恭裕が、少年Ｂ３０００ｍに出場した。予選は終始、先頭でレースをすすめ、そのまま自己ベストを更新し、組の２着で予選通過。決勝も、２０００ｍ付近まで先頭を走り、レースの流れをつくる快走を見せた。最後は、６着でのゴールとなったが、２レース共に、積極的で、立派な走りであった。市立浦和の歴史に新たなページが刻まれた。

高校駅伝県予選会 女子
暑さに負けず、8位入賞！

30℃近くまで気温が上がり、厳しい条件での駅伝になりました。途中棄権のチームも出る中、しっかりと自分たちの力を発揮できて、8位にン愁傷することが出来ました。6位とはまだ力の差がありますが、来年度以降にも期待がもてる、いい駅伝になりました。

①石井(1)：「初めての6kmで、暑さもあったため最初の1000mは慎重に入りましたが、単独走になってしまいペースを維持するのがきつかったです。最初から集団についていればもっと良い記録や順位が狙えたかもなので、レース展開に課題があったなと反省しています。長い距離のレース経験を積み、展開をつかんで自分の走りができるようになりたいです。タイムも順位も目標に届かず、思うような走りができなかったけど、みんなのおかげで入賞できて嬉しかったです。冬もお互いに切磋琢磨して次の駅伝や来シーズンに良い結果を出せるように頑張ります。」

②福田(2)：「走る前は不安でしかなかったけど、暑さ対策をしっかりしたおかげで最後までペースを維持して、ラストも上げることができました。タイムも自分の目標タイムよりとても速く走れて、自分の自信にも繋がりました。でも中盤でペースが落ちてしまったので、そこが課題だと思いました。みんなの目標であった8位入賞を達成できて本当に嬉しかったし、今までで1番最高の駅伝でした。冬季の練習は距離も増えるけど、貧血や怪我に気をつけながらもっと持久力をつけて800mや1500mに繋げられるように練習を頑張りたいです。」

③外山(2)：「今回の駅伝は、個人のタイムは目標に届きませんでしたが、最後まで前を追い、前との差を縮めて襷を渡すことができたので良かったです。また、チームの目標としていた8位入賞を達成することができて嬉しかったし、冬にあるあと2つの駅伝ではもっとチームに貢献できる走りをしたいです。」

④松尾(1)：「試合自体が久しぶりということや駅伝は例年より暑いということがあり、緊張しました。前のチームが見えていて、追いつこうと焦って、突っ込みめではいってしまい、後半ペースを保つことができなかったり、競技場に入ってからの300mにうまく上げることができなかったです。しかしそれでも今まで襷を繋いで来てくれた仲間や5区の先輩のお陰で入賞することができて嬉しいです。来年は2年生として長い距離の区間を任せられるように、また、順位を上げてチームに貢献できるようになりたいです。」

⑤芦澤(2)：「チーム目標であり入賞ラインの8位に必ず入るという気持ちで走りました。1～2キロ目で暑さへの不安からペースを抑えすぎた部分もあっけれど、ラストまで大きく落ちることなく走れて8位で帰ってくることができました。 来季は貧血や怪我の予防を徹底し、さらに強くなります。」

全国の舞台で、活躍！
国スポB3000m 6位 牛王田

積極的に先頭へ出て、レースをつくれるのが牛王田の、よいところです。その特徴を全国でも発揮できたことが、今回の結果につながったと思います。まだ、1年生ですので、今後の活躍にも期待してください。

○牛王田：「初の埼玉ユニフォームを着て、埼玉代表で少年男子B3000mに出場しました。予選では今までのレースで1番緊張しましたが、いつでも前を狙える良位置を走り、レース展開もうまく落ち着いて走り、スパートも上手くかかり、自己ベストを更新できてとても嬉しくとても安心しました。決勝では、周りの選手のペースに合わせず、自分のペースでいくために先頭へ出て、2000mまでは行けましたが、そこから一気に抜かせれてしまい、なんとかつこうとしましたが、少しづつ間が空いてしまい、そのままゴールし6位という結果でした。高校初の全国大会でしたが、埼玉県選手団やいろんな人の支えがあり、大舞台で自分の力を発揮し自己ベストを更新し入賞もできました。応援ありがとうございました。」

来年度の飛躍を誓う 男子

記録的にも、順位的にも、厳しい駅伝になりました。国スポの直後ということで、チーム全体の調整も難しかったと思います。しっかりと次年度に向けて、走力の向上を目指します。

①小坂(2)：「序盤からうまくペースをつかむことができず不甲斐ない結果となってしまいました。今回の駅伝を通して改めて自分の力の無さを感じました。今シーズンはうまくいかないレースが多く、悔しい結果が続いてしまったので、自分の目標や走りを見つめ直して学総で結果が出るように頑張っていきます。応援ありがとうございました。」

②鴇田(1)：「レースまでの調子が良かっ たにも関わらず、自分の中でのベストを全く出せず、実力のなさ感じました。この冬季で動きづくりや距離を踏んで、しっかりと基礎を積み重ねていきます。そして次の駅伝でより良い走りができるような選手になります。」

③牛王田(1)：「目標としていた25分台は達成できましたが、区間順位は10位で目標の1桁へは届きませんでした。ただ前を走る選手をたくさん抜いて、順位を上げてチームに貢献できてよかったです。来年はどの区間を走っても安定して走れる選手になります」

④櫻井(2)：「今回の駅伝は練習が積めていて、調子がよかったものの、当日は思うような走りができず、自分の実力不足を感じました。特に、粘り強さやレースでの安定感に課題が残りました。今回の悔しさを忘れず、日々の練習に取り組んでいきたいです。応援ありがとうございました。」

⑤前田(1)：「駅伝の独特の空気感に緊張して、最初の1kmを想定よりゆっくり入ってしまい、目標としていたタイムには届きませんでした。冬季は、駅伝の練習で培った有酸素能力を土台にして、スピードを伸ばしていきたいです。」

⑥河村(2)：「今回の駅伝は自分にとってすごく悔しいレースになりました。新人戦が終わってから約1ヶ月駅伝に向けて練習を積んできましたが本番では自分の実力を発揮することができず、納得のいくタイムとは程遠いものになりました。本番に弱いと感じることが多いのでこれからの練習は本番を意識して取り組み、部長としてチームを引っ張っていきます。応援ありがとうございました。」

⑦轡田(1)：「駅伝前の練習では自分の成長を感じる場面も何度かあり、この調子で本番でも走れるかなと思っていました。当日も調子は良く、天候にもある程度恵まれていたのですが、思っていたようには走れず、悔しい結果となりました。基礎の走力を第一に、一人でペースを作れなかったことや、抜かされた時についていけない意思の弱さを今後の課題とし、今後の練習に取り組んで次回は納得できる結果を残したいです。」

今後の予定

十一月三日（火）
○文化の日

十一月六日（金）
○B週火曜日授業

十一月七日（土）
○短距離遠征予定

十一月十四日（土）
○県民の日

十一月二十一日（土）
○学校説明会・部活動見学

十一月二十三日（月）
○長距離記録会
○勤労感謝の日

十一月二十五日（水）～二十九日（日）
○２年修学旅行
於：シンガポール

十一月三十日（月）～十二月一日（日）
○２年振替休業

十二月一日（火）
○期末考査１週間前